

# 日本共産党 政治の根本転換迫る

改憲、原発推進など暴走を開始した安倍政権。日本共産党は開会中の国会で真正面から論戦を挑んでいます。

## 「慰安婦」問題 「河野談話 見直し論封印」(「朝日」)

志位和夫委員長は、日本軍「慰安婦」問題で軍の関与と強制を認めた「河野談話」見直しを安倍首相が主張していることを追及。「談話」作成に関わった元官房副長官の証言に基づいて、「文書がないことをもって事実がなかったという議論は成り立たない」と指摘。首相は否定できず、「河野談話 見直し論封印」(「朝日」)と報じられました。

## 原発 首相が初めて「お詫び」「反省」

安倍首相が「安全神話」をふりまいていたことを指摘した志位委員長に、首相は初めて福島原発事故への「心からのお詫び」を表明、「複合災害の視点を欠如させていた」と「安全神話」への「反省」をのべました。



大飯原発3、4号機

## デフレ脱却 「賃上げ目標こそ」とズバリ

「デフレ不況脱出のカギは国民の所得をふやすこと」。エコノミストからも「国民の期待は賃金の上昇」「物価だけ上がっても給料などが増えなければ、暮らしの影響は深刻」などの指摘があがっています。「政府は賃上げ目標をこそ持て」とズバリ迫ったのは、日本共産党だけです。

# 自民 暴走

# 真正面から論戦

安倍政権と

日本共産党

# 迎合「野党」 対決姿勢なし

「野党として情けない」「政権に足元をみられてしまう」「自民党との保守連携をにらんでいる、と勘ぐられても仕方あるまい」(「朝日」1月31日社説)。民主党や維新の会、みんなの党にこんな声が上がっています。

## 民主 「増税与党」



野党性を失った民主党。消費税増税など「税と社会保障の一体改革」については、「自民党は与党になった途端、消極姿勢

が目立っている」と突き上げ。政権から転落後も自公との「3党合意」にしばられた姿をさらしました。

## 維新 「改憲与党」

代表質問で「総理の姿勢に共感を覚える」と表明。憲法については「違法な手段、不法な条件で意図的に(帝国憲法から)改正された」として日本

国憲法の廃棄を唱えるなど、「改憲与党」ぶりを発揮しました。

「改憲連合」…維新・みんな  
維新 …「憲法をすべて変える」(橋下徹・共同代表)  
みんな…「公務員制度改革が先」としながら改憲には「賛成」

## みんな 首相に同調



アベノミクスについて「大胆な金融緩和が不可欠」と首相に同調。「(オバマ大統領との)日

米首脳会談でTPP(環太平洋連携協定)参加を表明したらどうか」と尻をたたきました。